







日経SDGs経営調査について



日経リサーチ

2022年5月13日

	1. 日経SDGs経営調査の概要	2
	2. 調査スケジュールと回答方法	6
	3. 前回調査と表彰	12
	4. 評価レポートとロゴ	16
	5. 評価と調査のポイント	20
	6. お問い合わせ先	40

1. 日経SDGs経営調査の概要

NIKKEI-R

日経SDGs経営調査の背景

- 貧困や気候変動など世界が直面する課題解決のため、国連で「**持続可能な開発目標（SDGs）**」が採択。
- 17の目標からなるSDGsではすべてのステークホルダーに行動を求めているが、中でも企業は**ビジネスを通してSDGs達成に大きく貢献することが期待**されている。
- 企業はSDGsを経営に組み込み、**課題解決事業やイノベーションの創出により、持続的成長**につなげられる。
- 環境、社会、企業統治を重視するESG投資の拡大や消費者意識の変化などにみられるように、**投資家や消費者はSDGsに積極的に取り組む企業を評価する傾向**が強くなっている。



日経SDGs経営調査の設計

- 日本経済新聞社はSDGs達成への貢献活動の一環として、企業を対象にSDGsおよびESGの推進を評価する、「日経SDGs経営調査」と、調査結果に基づく企業表彰を実施。
- SDGsを経営と結びつけることで、**事業を通じて社会・経済・環境の課題解決に取り組み、企業価値向上につなげている企業**を評価するとともに、SDGs達成を後押し。

NIKKEI
SDGs





伊藤邦雄 一橋大学CFO教育研究センター長

- 経済産業省「SDGs経営／ESG投資研究会」座長
- 経済産業省「攻めのIT経営銘柄」選定委員会委員長
- 東京証券取引所「企業価値向上表彰制度委員会」委員長
- 経済産業省「グリーンファイナンスと企業の情報開示の在り方に関する「TCFD研究会」」座長
- 経済産業省・金融庁・環境省「TCFDコンソーシアム」会長
などを務める。

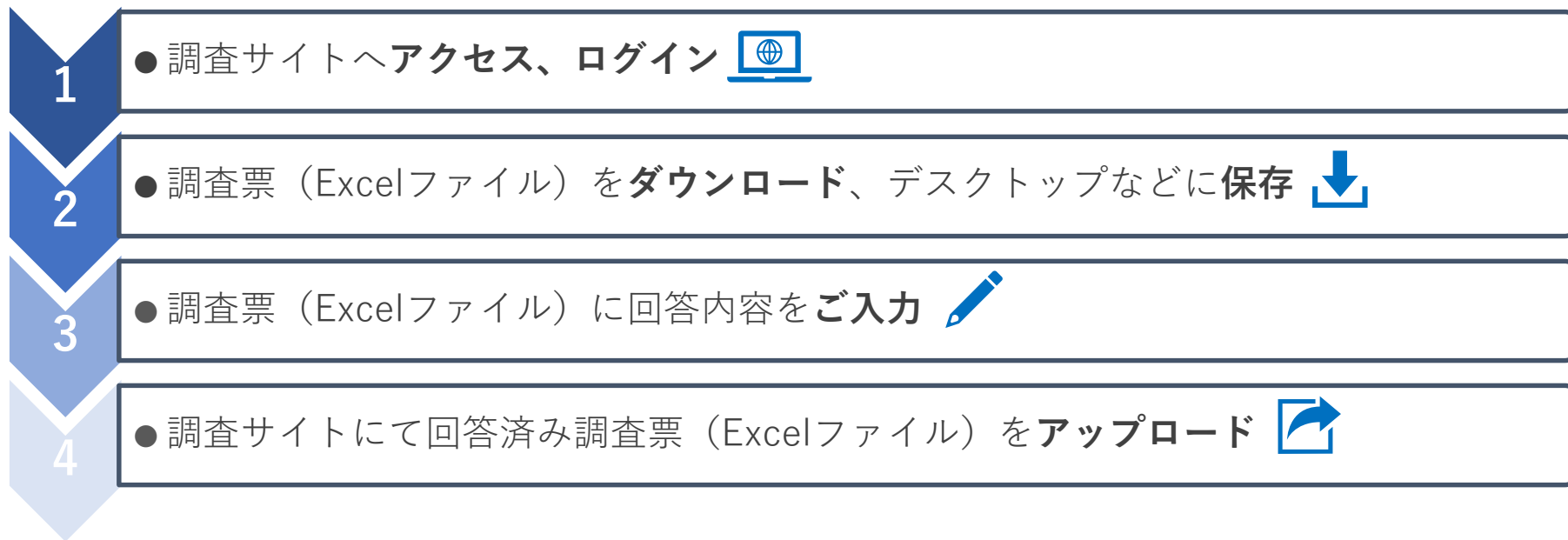
2. 調査スケジュールと回答方法

NIKKEI-R

対象企業	<ul style="list-style-type: none">● 国内のすべての上場企業● 従業員100人以上の非上場企業（エントリー制）
実施期間	<ul style="list-style-type: none">● 5月11日（水）～7月1日（金） 1次締切：6月17日（金） 最終締切：7月1日（金）17:00 ※締切は厳守願います。 環境負荷データの追加回答可能期間：8月22日（月）～9月2日（金）
調査方法	<ul style="list-style-type: none">● 電子調査票（Excelファイル）ダウンロード・アップロード形式 ※財務、時価総額、ガバナンスは一部NEEDS収録データなど公表値を使用
紙面掲載	<ul style="list-style-type: none">● 11月 日本経済新聞、日経産業新聞、日経電子版などに掲載 ※同時期に、評価を記載したフィードバックシートを送付
表彰	<ul style="list-style-type: none">● 11月

調査の回答方法

● 調査回答の流れ



● 実施概要・調査票入手方法などの詳細

https://www.nikkei-r.co.jp/service/survey/smartwork_survey/2022.html

● 調査サイト

<https://brs.nikkei-r.co.jp/swsdgs2022/>

対象設問	● 環境負荷データに関する設問（EQ27～29）
追加回答受付期間	● 8月22日（月）～9月2日（金）
留意事項	● 調査自体の最終締切（7月1日（金））までに一度は、SDGs経営調査の回答を提出している必要があります。 追加回答受付期間での調査そのものの新規回答は受け付けません。 ● 対象設問以外の回答修正はできません。
回答方法	● 調査票ファイル内に、追加回答用の調査URL、ID、PASSを記載しています。 ● 記載のURLから、調査票ファイルをダウンロードしてください。 ※その時点での貴社の最終データをダウンロードできます。 ※EQ27～29以外は修正できない状態となっています。 ● 回答内容を確認・追記し、再度アップロードしてください。 ※上記で新たにダウンロードしたものでなく、お手元にある調査票をアップロードした場合、データに不具合が生じる可能性があります。 ※詳細は、調査票ファイル内の「調査について」シートをご確認ください。

SDGs経営調査とスマートワーク経営調査

- 基本的には、調査票のすべてのセクションにご回答いただければ、自動的に両方の調査に回答したものと扱われます。できるだけ**両方の調査のご回答をお願いします**。
- 片方のみ回答することも可能です。その場合は、調査票冒頭にある*調査回答のご確認*のプルダウンで「回答しません」を選択してください。

NIKKEI
SDGs + **NIKKEI**
Smart Work

調査回答のご確認

「スマートワーク経営」調査、「SDGs経営」調査に回答しますか。そのままご提出いただくと、両方の調査に回答したことになります。片方のみ回答したい場合に限り、回答をしない方を「回答しません」に変更してください。

「スマートワーク経営」調査に回答します

「SDGs経営」調査に回答します

「SDGs経営」調査に回答します

「SDGs経営」調査に回答しません

SDGs／SW共通設問（両方の調査で使用）

- I. 事業内容、顧客層、拠点
- II. 経営トップ・役員
- III. 人材活用（前半）
 - 1) 人材活用における方針・計画と責任体制
 - 2) 基本情報
 - 3) 労働時間、休暇取得、健康保持・増進
 - 4) ダイバーシティの推進
 - 5) エンゲージメント・モチベーション向上

SDGs設問（SDGs経営調査のみで使用）

- VI. 環境・社会・経済の課題解決の推進方針・体制
- VII. 経済価値～事業を通じた環境・社会・経済の課題の解決
- VIII. 環境価値
- IX. 社会価値
- X. ガバナンス
- XI. 新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた活動
およびトピック項目
- XII. その他
- XIII. 非上場企業向け設問

SW設問（SW経営調査のみで使用）

- III. 人材活用（後半）
 - 6) 多様で柔軟な働き方
 - 7) 人材への投資
 - 8) 人材活用におけるテクノロジーの導入・活用
 - 9) 変革・先進・独自施策
- IV. イノベーション・市場開拓
- V. 2022トピック設問

SDGs経営調査とスマートワーク経営調査

- **NIKKEI SDGs + NIKKEI Smart Work** に回答したい場合
 - ▶ **共通設問** & **SDGs設問** & **SW設問** に回答
- **NIKKEI SDGs** のみ回答したい場合
 - ▶ **共通設問** & **SDGs設問** に回答

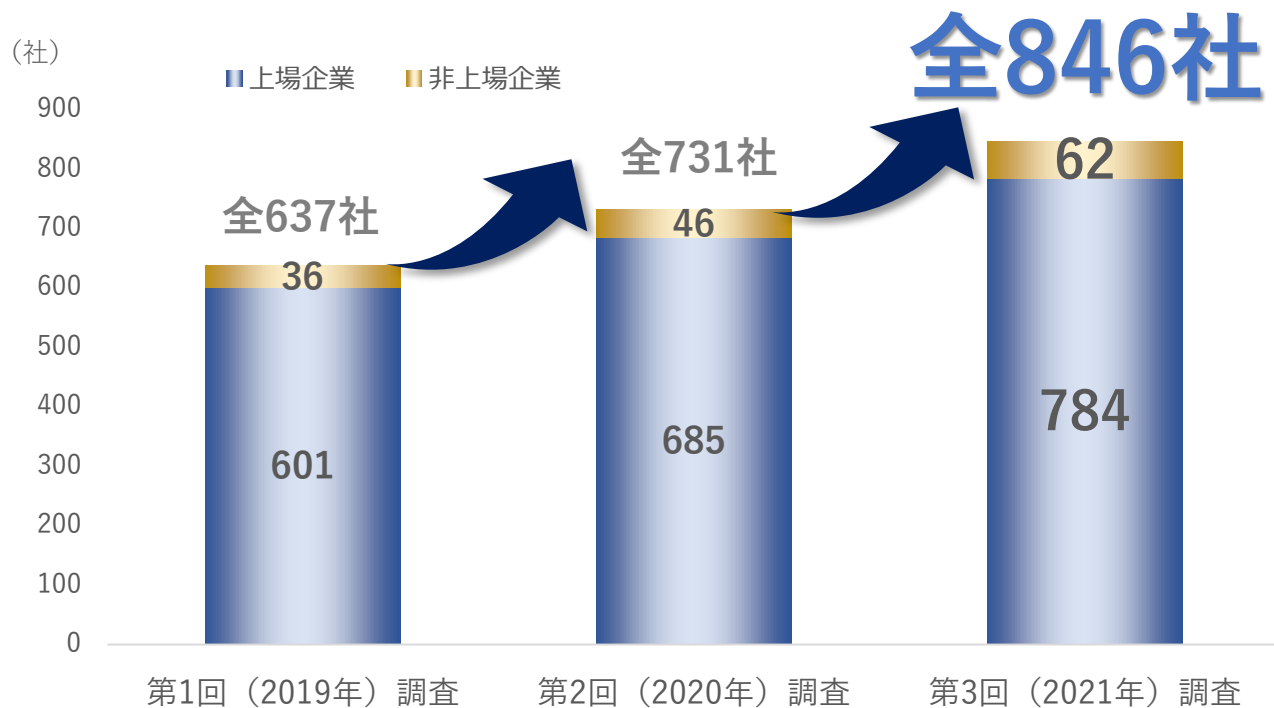
3. 前回調査と表彰

NIKKEI-R

> 3-1. 調査回答社数の推移

回答社数の 推移

- 毎年100社ほど増加し、前回は846社が回答。
- 上場企業・非上場企業ともに回答者数が増加。



総合格付 ★★★★★ (偏差値70以上)

社名 (50音順)	SDGs戦略・経済価値	社会価値	環境価値	ガバナンス
アサヒGHD	S++	S++	S++	S++
麒麟HD	S+	S+	S+	S++
コニカミノルタ	S+	S++	S+	S++
セイコーエプソン	S+	S+	S++	S
積水ハウス	S+	S+	S++	S+
ソフトバンク	S++	S++	S+	S+
三菱UFJFG	S+	S+	S+	S+
リコー	S+	S++	S++	S+

総合格付 ★★★★★☆ (偏差値65以上)

アシックス、味の素、アズビル、アンリツ、イオン、出光興産、伊藤忠商事、エーザイ、NEC、MS&ADインシュアランスGHD、オムロン、花王、KDDI、コマツ、サントリーHD、資生堂、島津製作所、清水建設、J・フロントリテイリング、セブン&アイHD、SOMPO HD、第一三共、第一生命HD、ダイキン工業、大日本印刷、大和ハウス工業、帝人、東京海上HD、TOTO、凸版印刷、豊田合成、日清食品HD、日本たばこ産業、野村不動産HD、日立製作所、富士通、富士フイルムHD、みずほFG、三井住友FG、明治HD、ユニ・チャーム、LIXIL

※2021年11月17日 日本経済新聞より

※☆は、★の0.5個分

※ホールディングスはHD、グループはG、フィナンシャルはFと表示

企業名	主な取り組み
大賞	
アサヒGHD	飲料のペットボトルからラベルを取り除き、樹脂の使用量削減
SDGs戦略・経済価値賞	
ユニ・チャーム	東南アジアでデングウイルスを媒介する蚊を寄せ付けない新しい紙オムツを投入
社会価値賞	
ソフトバンク	勤続年数の男女差が小さいなど社内のダイバーシティー実現
環境価値賞	
セイコーエプソン	温暖化ガスの排出をめぐり、重要性が増している取引先まで含めた削減努力

※2021年11月24日 日本経済新聞より

審査委員

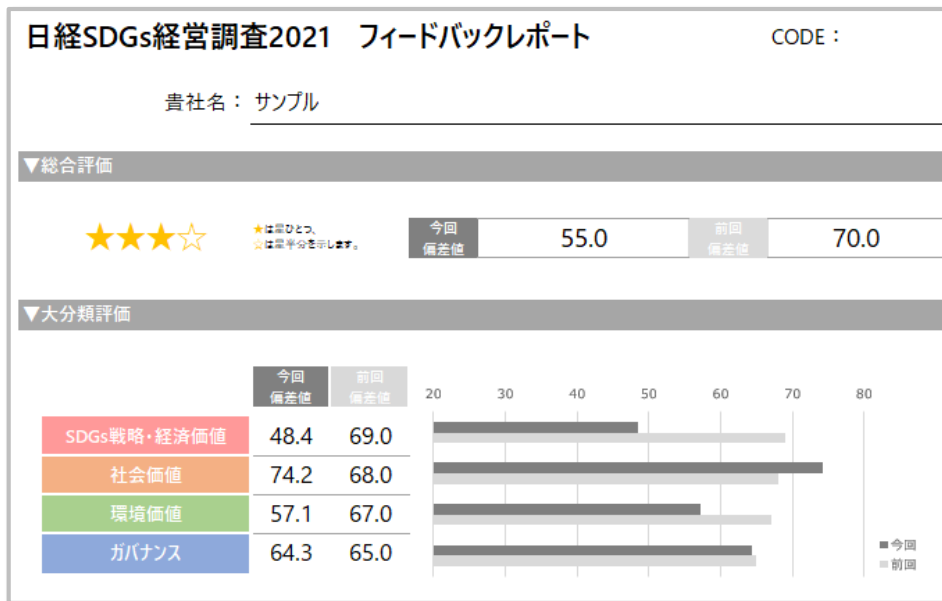
伊藤 邦雄 ※審査委員長	一橋大学CFO教育研究センター長	蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
足達 英一郎	日本総合研究所理事	刀祢館 久雄	日本経済研究センター研究主幹
中空 麻奈	BNPパリバ証券グローバルマーケット統括本部副会長	※敬称略、役職は審査会実施時のもの	

4. 評価レポートとロゴ

NIKKEI-R

フィードバックレポート

- ご回答いただいたすべての企業に新聞掲載時期に**無償**で提供。
- 調査の評価を中分類ごとに偏差値で記載。



▼中分類評価

SDGs戦略・経済価値	今回偏差値	前回偏差値
方針	30.0	31.0
報告とコミュニケーション	70.0	71.0
推進体制・社内浸透	50.0	51.0
ビジネスでの貢献	44.0	45.0
業績	53.0	54.0

環境価値	今回偏差値	前回偏差値
方針	30.0	31.0
温室効果ガス・脱炭素	70.0	71.0
消費電力	56.0	57.0
廃棄物	75.0	76.0
水資源	25.0	26.0
気候変動、資源、生物多様性	36.0	37.0

社会価値	今回偏差値	前回偏差値
人権の尊重	36.0	37.0
消費者課題への対応	47.0	48.0
社会課題への対応	56.0	57.0
労働時間・休暇	75.0	76.0
ダイバーシティ	70.0	71.0
従業員エンゲージメント	55.0	-

ガバナンス	今回偏差値	前回偏差値
ガバナンス方針と実効性	32.0	-
取締役会	50.0	-
株主対応・株式保有	60.0	-

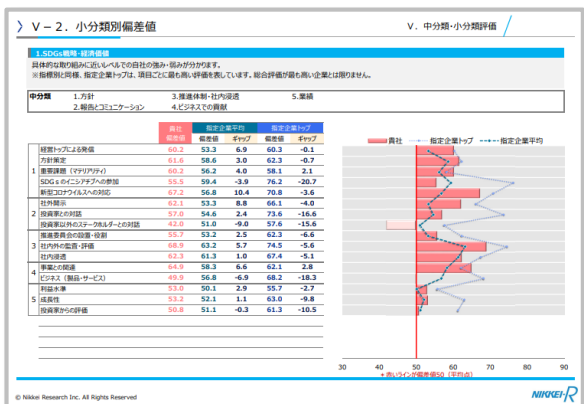
※「従業員エンゲージメント」とガバナンスの中分類は前回ない中分類

※前回調査時のフィードバックレポート

分析レポート (調査ご回答企業に有償で11月頃より販売開始)

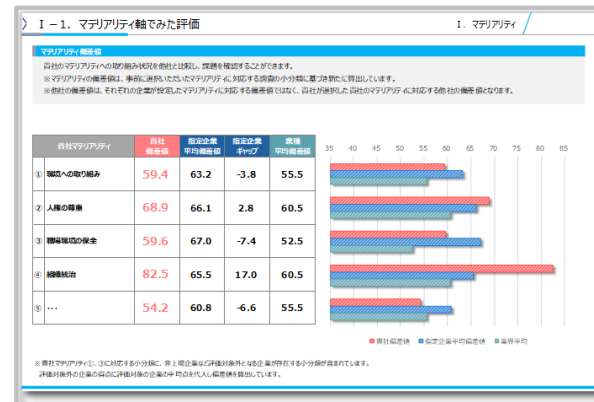
● ベーシック

大分類・中分類・小分類の評価と各設問の取り組み状況などを記載。



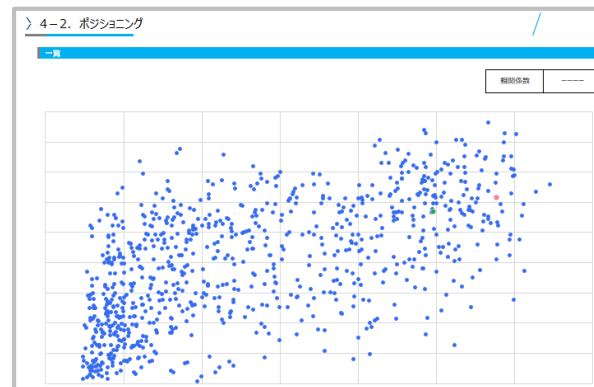
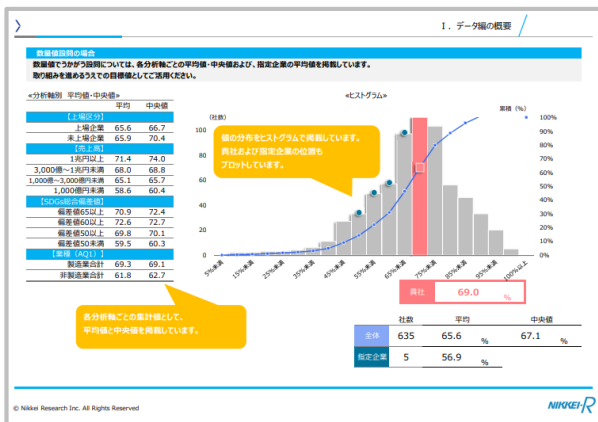
● プレミアム

マテリアリティに対応した評価や先進事例などを記載。



● アウトカムplus

SDGs経営とアウトカムの関係などを記載。



※詳細は日経リサーチホームページ (SDGs推進プログラム) をご参照ください。サンプルはイメージです。

ロゴマークの利用

- 偏差値に対応する格付（★）を付与。
- 3つ星（★★★）以上の格付を得た企業は星付きロゴマークを自社のHPや印刷物等で利用可能。
- 該当の企業には新聞への掲載後、メールにてロゴマークのダウンロードサイトを案内。
- ご利用は無料。調査事務局（日経リサーチ）へご一報の上ご利用をお願いします。



※前回調査時のロゴ
 ※5つ星の場合のロゴ

総合格付	偏差値
★★★★★★	70以上
★★★★★☆	65以上70未満
★★★★★	60以上65未満
★★★★☆	55以上60未満
★★★★	50以上55未満

※☆は、★の0.5個分

5. 評価と調査のポイント

NIKKEI-R

全体的な評価の方針

● 偏差値による相対的な評価

回答内容が前回と変更ない場合でも、前回より評価が下がる可能性があります。

● 把握していることを評価

回答することで無回答より評価が低くなるということはありません。
数量値については概数でも把握している場合は可能な限りご回答ください。

● 公表していることを評価

ステークホルダーに向け積極的な公表を行っていることを評価します。
公表している項目についてURLの記載欄がある設問はURLもご回答ください。

● サプライチェーンまで拡大した取り組みを評価

自社に加えサプライチェーンを含めた課題解決に取り組んでいることを評価します。

● 上場・非上場による有利不利をできるだけ少なくする評価

非上場企業が回答不要の設問は、その分類に属する別の設問の得点を引き伸ばして評価します。

※以降のページを含め評価方針は変更となる可能性があります。

> 5-2. 回答内容の公開

個別回答公開対象設問

- 回答企業のSDGs経営を発信する観点から一部の設問は同意を得た上で公表。
- 公表の可否はAQ0で数量値設問、施策・自由回答設問ごとに回答。

AQ0.個別回答公開対象設問の、貴社名とあわせて公開をご承諾ください。(それぞれ1つだけ)

①共通・スマートワーク 数量値設問	1. 公開可	2. 公開不可	
②共通・スマートワーク 施策・自由回答設問	1. 公開可	2. 公開不可	
③SDGs 数量値設問	1. 公開可	2. 公開不可	
④SDGs 施策・自由回答設問	1. 公開可	2. 公開不可	

- 対象設問は設問番号の前に★公開★と記載。対象設問一覧は「調査について」シートに記載。

★公開★EQ1.環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）について、経営トップによるメッセージを発信していますか。以下のa～cについてお答えください。

a.発信の有無(1つだけ)	1. 発信している	2. 発信していない(⇒EQ2へ)	
b.メッセージに含まれる内容 (いくつでも)	1. マテリアリティ(重要課題)や取り組むSDGsの目標		
	2. 1.に取り組む理由		
	3. SDGsへの貢献と事業との関係		5. 経営トップの顔写真
	4. SDGsへの貢献の進捗や成果		6. 経営トップの署名(直筆でなくても可)
c.URL			

③SDGs 数量値設問

- EQ27. 環境負荷データの把握範囲、公表、第三者検証・保証の有無
- EQ28. 環境負荷データの実績、見込み数値
- EQ29. 環境負荷データ・生物多様性の中長期目標の設定と公表
- EQ38. 社会貢献活動
- EQ51. 役員報酬の固定報酬と業績連動報酬の割合

④SDGs 施策・自由回答設問

- EQ1. 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）についてのトップメッセージ
- EQ2. 基本的な方針の策定
- EQ3. 貴社全体として貢献を掲げるSDGsの目標
- EQ4. 重要課題（マテリアリティ）に対応するSDGsの目標と評価指標
- EQ10. 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）について記載しているレポート
- EQ11. 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）の株主・投資家などの対話
- EQ14. 社会に対して与えるポジティブなインパクト（社会的インパクト）の測定
- EQ15. 事業の環境・社会・経済の課題解決への最大のネガティブインパクトと低減するための取り組みや成果
- EQ16. 環境・社会・経済の課題を解決（SDGsへ貢献）するビジネス（製品・サービス）の内容
- EQ18. 気候変動、資源、生物多様性に関するリスクの分析・対策、機会の分析
- EQ22. 環境課題の解決に向けた取り組み
- EQ23. 気候変動への適応策（温暖化を前提とした対策）
- EQ24. サーキュラーエコミー（脱プラスチック含む）に向けた取り組み
- EQ25. カーボンニュートラル宣言
- EQ26. 脱炭素に向けた取り組み
- EQ52. 役員報酬について特長的な取り組み

大分類	主な評価項目
SDGs戦略・ 経済価値	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGs経営の方針 ● SDGs経営の推進体制と社内浸透 ● 報告とコミュニケーション ● 事業を通じたSDGsへの貢献 ● 新型コロナウイルス感染症流行を踏まえた活動 ● サステナブルファイナンス などを評価
環境価値	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営の方針 ● 環境課題の解決への取り組み ● 脱炭素に向けた取り組み ● 環境負荷データ などを評価
社会価値	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権の尊重 ● 消費者・顧客課題への取り組み ● 社会貢献活動 ● 労働時間と休暇 ● ダイバーシティー ● 従業員エンゲージメント ● 人的資本 などを評価
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ● ガバナンス方針と実効性 ● 取締役会 ● 株主対応・株式保有 などを評価

SDGs戦略・経済価値

SDGs経営に関する企業としての姿勢とSDGsに貢献するビジネスなどを総合的に評価。

● SDGs経営の方針

経営トップによるメッセージ発信、基本的な方針の策定、重要課題（マテリアリティ）とKPIの設定 など

● SDGs経営の推進体制と社内浸透

推進体制の開示、委員会や会議体の設置、社内浸透策の実施 など

● 報告とコミュニケーション

SDGsについて記載しているレポート、ステークホルダーとの対話 など

● 事業を通じたSDGsへの貢献

SDGsに貢献するビジネス（製品・サービス）、**社会的インパクト**、ネガティブインパクトの低減策 など

● 新型コロナウイルス感染症流行を踏まえた活動

新型コロナウイルス感染症流行で行った活動、社会的インパクトを与える活動

● サステナブルファイナンス

ESG債の発行 など

※青字は新規追加項目

EQ4. 重要課題（マテリアリティ）とKPIの設定

マテリアリティとそれらに対応するKPIを設定していることなどを評価。

- **重要課題（マテリアリティ）**を5つまで回答。
- **マテリアリティのテーマ**は、記載したマテリアリティに最も近い区分を20個の選択肢から回答。
- それぞれのマテリアリティに対応する**SDGs17目標**を回答。
- マテリアリティ1つにつき対応する**KPI**を2つまで回答。

★公開④(a~c全て)★EQ4.重要課題（マテリアリティ）について以下a~cにお答えください。

※「テーマ」はマテリアリティの内容として最も近いものを選択肢から選んでください。
 ※bは記入欄に1~17の番号をそれぞれ左上から順、横(Z)方向に入力してください。

【テーマの選択肢番号】

- | | | |
|-----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 環境全般 | 9. ダイバーシティ&インクルージョン | 16. 品質・安全性、消費者・顧客 |
| 2. 気候変動・脱炭素 | 10. 街づくり・インフラ・防災 | 17. 生産性向上・DX |
| 3. 水資源・海洋保全 | 11. 人材育成・ディセントワーク・従業員エンゲージメント | 情報システム・情報セキュリティ |
| 4. 生物多様性・森林保全 | 12. イノベーション・新商品開発・新規事業開発 | 18. サプライチェーン・調達 |
| 5. 循環型経済・資源・廃棄物 | 13. 地域創生・パートナーシップ・コミュニティ | 19. コーポレートガバナンス・コンプライアンス・経営基盤 |
| 6. 社会基盤・生活向上 | 14. 人権 | 20. その他 |
| 7. 社会課題解決 | 15. ヘルスケア | |
| 8. 健康経営 | (医療・医薬・介護・栄養・健康課題等) | |

テーマ		a重要課題(マテリアリティ) *5つまで 重要課題(マテリアリティ)(50文字以内)	b重要課題に対応する SDGsの目標(L,Kつでも)										
1	7	社会課題解決 データとリサーチで持続可能な社会の実現に貢献	3	8	11	13	16						
2	12	イノベーション データ収集・分析・可視化の高度化	8	9	17								
3	9	D&I ウェルビーイングと多様性の尊重	3	4	5	8							
4	1	環境全般 環境に配慮した企業行動	12	13									
5	19	ガバナンス 社会の信頼に応える経営	16	17									

【bの選択肢番号】

- | | | | |
|-----------------|----------------------|------------------|-----------|
| 1 貧困をなくそう | 6 安全な水とトイレを世界中に | 11 住み続けられるまちづくりを | 16 平和と公正を |
| 2 飢餓をゼロに | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 12 つくる責任・つかう責任 | すべての人に |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 8 働きがいも経済成長も | 13 気候変動に具体的な対策を | パートナーシップで |
| 4 質の高い教育をみんなに | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 14 海の豊かさを守ろう | 目標を達成しよう |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 10 人や国の不平等をなくそう | 15 陸の豊かさを守ろう | |

		c. 重要課題に対応する評価指標		
		①重要成果指標の内容(50文字以内)	②目標年	③達成目標(50文字以内)
1	1			
	2			
2	1			
	2			
3	1			
	2			
4	1			
	2			
5	1			
	2			

EQ6-7. SDGs経営の推進体制

サステナビリティ関連の委員会の設置や推進体制の開示などを評価。

- EQ6. 推進体制は、企業全体の全部署が掲載された体制ではなく、**サステナビリティにフォーカスした体制の開示の有無**について回答。
- EQ7. 委員会・会議体は、サステナビリティ全般と環境など一部をカバーするもの両方が設置されている場合は、**サステナビリティ全般を優先**して回答。

EQ6. サステナビリティ推進体制について、以下の内容を開示していますか。(いくつでも)

※企業全体の組織図ではなく、中核組織(例えばサステナビリティ委員会)と取締役会のかかわりなど、サステナビリティの推進にフォーカスした体制図が対象です。

<input type="checkbox"/> 1. 体制図	<input type="checkbox"/> 2. 中核組織の役割	<input type="checkbox"/> 3. 中核組織の参加メンバー
---------------------------------	-------------------------------------	---

いずれか開示している場合はURL ⇒

EQ7. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) について、全社で横断的に推進していくための委員会・会議体を設置していますか。(1つだけ)

※取締役会、経営会議を含みません。

<input type="checkbox"/> 1. 取締役会と執行側双方に委員会を設置	<input type="checkbox"/> 4. 全社横断の委員会はないが専門部署等を設置	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 2. 取締役会の委員会として設置	<input type="checkbox"/> 5. 特に設けていない	
<input type="checkbox"/> 3. 執行側の委員会として設置		

(SQ1~5まで、「1. 取締役会と執行側双方に委員会を設置」「2. 取締役会の委員会として設置」「3. 執行側の委員会として設置」とお答えの場合)

※EQ7で1を選択した場合、SQ1~5は、取締役会に設置された委員会についてご回答ください。

SQ1. 委員会のカバー範囲はどちらですか。(ひとつだけ)

<input type="checkbox"/> 1. サステナビリティ全般	<input type="checkbox"/> 2. 環境、人権など一部	<input type="checkbox"/>
--	---------------------------------------	--------------------------

EQ11. 投資家との対話

投資家と多様な場面でサステナビリティに関する対話を行っていることなどを評価。

- 選択肢3は**ESG説明会・サステナビリティ説明会・SDGs説明会**などの名称で、ESGをテーマとする投資家向け説明会を実施している場合のみ選択。
- 説明会の内容や資料・動画などを公開している場合は**URL**も回答。

★公開★EQ11.環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）について、株主・投資家などとの対話を行っていますか。（いくつでも）

※3、4について資料や動画を開示している場合はURLをご記入ください。

※非上場企業の場合は回答不要です。

<input type="checkbox"/>	1. 株主総会で説明	
<input type="checkbox"/>	2. 決算説明会で説明	
<input type="checkbox"/>	3. ESGをテーマとする投資家向けESG説明会、サステナビリティ説明会、SDGs説明会等を実施	
	→URL:	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	4. 投資家向け説明会の中でESGについて説明	
	→URL:	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	5. 投資家との1on1ミーティングでESGについて説明	
<input type="checkbox"/>	6. セルサイドアナリスト向けIRミーティングで説明	
<input type="checkbox"/>	7. 環境省ESG対話プラットフォームへの参加	
<input type="checkbox"/>	8. その他	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	9. 行っていない	

EQ12. 投資家以外のステークホルダーとの対話

多様なステークホルダーとサステナビリティに関する対話を行っていることなどを評価。

- ①消費者～④未来世代・Z世代といったステークホルダーとのサステナビリティを主題とした対話の**実施状況と自社の参加者**を回答。
- 説明会の内容や資料・動画などを公開している場合は、開示欄に「1」を入力の上**URL**も回答。

EQ12. 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）についての、サステナビリティを主題として行った株主・投資家以外のステークホルダーへの説明会には誰が参加していますか。（いくつでも）また、説明会の内容を開示している場合は開示欄に「1」を入力してください。

	参加者(それぞれいくつでも)						開示
	1. 社長・会長・CEO	2. 担当役員	3. 担当部長クラス	4. 担当社員	5. その他	6. 実施していない	
例) 部長・担当社員が参加→			1	1			
①消費者・顧客							→
②取引先・調達先							→
③NPO・NGO							→
④未来世代・Z世代							→
→開示実施の場合URL:							

EQ14-15. ポジティブインパクト（社会的インパクト）とネガティブインパクト

ポジティブインパクトの測定とネガティブインパクトの低減に取り組んでいることなどを評価。

- ネガティブなインパクトを生じさせていること自体についてマイナスの評価はせず、ネガティブインパクトを把握していること、それを低減するための取り組みを実施していること、取り組みによる成果を評価。

★公開★EQ14. 貴社の事業が環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）に対して与えるポジティブなインパクト（社会的インパクト）を測定していますか。活動（アクティビティ）と成果（インパクト）と公表の有無、公表している場合はURLをお答えください。
 （合計で200字以内） 字数 0

活動	
成果(ポジティブなインパクト)	
公表の有無	1. 公表している 2. 公表していない <input type="checkbox"/> →1の場合、URL: <input style="width: 150px;" type="text"/>

★公開★EQ15. 貴社の事業が環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）に対して与えている最大のネガティブなインパクトとそれを低減するための取り組みや成果をお答えください。
 （合計で200字以内） 字数 0
 ※回答に対してマイナスの評価はしません。ネガティブインパクトの把握、低減のための取り組みを評価します。

ネガティブなインパクト	
低減するための取り組みや成果	

EQ16. SDGsに貢献するビジネス（製品・サービス）

事業によるSDGs貢献に取り組んでいること、社会課題解決と自社の業績双方における目標を設定し、実績を創出していることなどを評価。

- 事業（製品・サービス）を記載する欄が3つあり、できる限り3つともご回答を。
- その事業（製品・サービス）の過程や提供後に生じる負の影響があること自体のマイナス評価はせず、負の影響の有無を確認したこと、ある場合は、それを最小化するための取り組みを評価。

★公開④（3事例ともa、bのみ）★EQ16. 自社および自社グループの環境・社会・経済の課題を解決（SDGsへ貢献）するビジネス（製品・サービス）の具体的な内容をお答えください。

- ※事業活動で生じる環境負荷の低減に向けた具体的な取り組みはEQ22で、SDGsへの貢献を目指す社会貢献活動はEQ38でご記入ください。区分の考え方については、こちらをご確認ください。⇒ **【事例をお伺いする設問】**
- ※e. 貢献するSDGsの目標またはターゲットについて、ターゲットの設定がある場合は目標よりターゲットを優先してお選びください。（3つまでプルダウン選択、内容はSDGsターゲットリスト参照）
- ※j, k SDGsへの負の影響については、自社の事業が一面的には社会課題解決に繋がっていても、環境負荷など別の社会課題の発生に繋がる負の影響があると仮定し、負の影響の有無を分析し、最小化することを想定しています。

ビジネス(製品・サービス)④

a. 製品・サービス名(40文字以内)	
b. 製品・サービスの概要(150文字以内)	
c. (新規性やイノベーションの要素がある場合)新規性・イノベーションの内容(150文字以内)	

SDGsへの貢献	d. SDGsへの貢献のタイプ(1つだけ)	1. 製品・サービスそのもので貢献する			
	e. 目標またはターゲット	1つめ	2つめ	3つめ	
	f. 目標年	①社会課題解決に対する貢献		②自社の業績に対する貢献	
	e. 目標指標の内容(75文字以内)	年	年	年	年
	h. 目標値(50文字以内)				
SDGsへの負の影響	i. 実績(100文字以内)				
	j. 把握(1つだけ)	1. 負の影響を把握している	2. 負の影響はない	3. 分析していない	
	k. 負の影響の内容と最小化する取り組み ※負の影響が無い場合は無いことを確認した方法(150文字以内)				

環境価値

環境経営の姿勢や、気候変動・持続可能な資源・生物多様性に関する具体的な取り組み、環境負荷データの把握・削減・中長期目標の設定などを総合的に評価。

● 環境経営の方針

環境方針の公表、リスク・機会に関する分析、TCFDに基づく開示 など

● 環境課題の解決への取り組み

気候変動・持続可能な資源・生物多様性に関する具体的な取り組み など

● 脱炭素に向けた取り組み

カーボンニュートラル宣言、脱炭素に向けた具体的な取り組み など

● 環境負荷データ

環境負荷データの実績、温室効果ガスや**生物多様性に関する中長期目標の公表** など

※青字は新規追加項目

EQ18. TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に基づく開示

気候変動関連のリスクや機会に関する項目の開示などを評価。

- a～lのそれぞれの項目について、有価証券報告書や統合報告書などの企業報告書に記載しているかを回答。
- 企業報告書にいずれかの項目を開示している場合は**URL**も回答。
- 2021年10月の**TCFDの改訂**に基づき項目を前回から変更。

★公開★SQ-（「a. 気候変動」でいずれか「l. 分析済みで、結果を開示している」場合）

開示している内容および開示媒体をお答えください。
また、開示内容のTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）
提言への準拠の有無をお答えください。

		①開示媒体 (それぞれいくつでも)		②TCFD への準拠 (1=している、2 =していない)
		1.有価証 券報告書	2.年1回以上、 自発的に発行 する企業報告書 (※)	
ガバナンス	a.取締役会による監督体制			
	b.気候関連のリスク・機会を評価・管理する上での経営者の役割			
戦略	c.気候関連のリスク	①定性的な記載		
		②定量的な記載		
	d.気候関連の機会	①定性的な記載		
		②定量的な記載		
	e.気候関連のリスクがビジネス・戦略・ 財務計画に及ぼす影響	①定性的な記載		
		②定量的な記載		
f.気候関連の機会がビジネス・戦略・ 財務計画に及ぼす影響	①定性的な記載			
	②定量的な記載			

戦略	g.低炭素経済に移行するための組織の計画(移行計画)				
	h.気候関連シナリオに基づく、リスク・機会に対応した戦略の変更				
リスク管理	i.気候関連シナリオに基づく、財務への潜在的影響				
	j.気候関連リスクの識別・評価・管理				
指標と目標	k.産業横断的な気候関連指標カテゴリに沿った指標				
	l.産業横断的な気候関連指標カテゴリに沿った目標				

※企業報告書:アニュアルレポート・統合報告書・CSR報告書・環境報告書・サステナビリティレポートなど

↓ ↓

★公開★SSQ-（「2.年1回以上、自発的に発行する企業報告書」でいずれかを開示をしている場合）
開示しているURLをご記入ください。
URL: _____

EQ22-23. 事業活動で生じる環境負荷低減に向けた取り組み

気候変動・持続可能な資源・生物多様性に関する具体的な取り組みと成果などを評価。

- EQ22aは**事業活動で生じる負荷を軽減するための取り組み**、EQ23は**温暖化という外部環境を前提とした取り組み**について書き分けて回答。
- 取り組みを開示している場合は**URL**も回答。

★公開★EQ22. 事業活動で生じる環境負荷の低減に向けた具体的な取り組みとその成果をお答えください。また、取り組みについて開示している場合はURLもご記入ください。
 (取り組みと成果の合計で各200文字以内)
※製品・サービスの提供における環境課題解決への貢献はEQ16に、SDGsへの貢献を目指す社会貢献活動はEQ38にご記入ください。区分の考え方については、こちらをご確認ください。⇒ [【事例をお伺いする設問】](#)

a. 気候変動の緩和	①取り組み	
	②成果	
	③URL	
b. 持続可能な資源の活用	①取り組み	
	②成果	
	③URL	
c. 生物多様性及び生態系の保全	①取り組み	
	②成果	
	③URL	

★公開★EQ23. 気候変動への適応策（温暖化を前提とした対策）について、取り組みをお答えください。(200文字以内)

EQ28. 環境負荷データの実績・達成目標

環境負荷データの削減、再生可能エネルギーの増加などを評価。

- 環境負荷データについて**概算値**でも把握している場合は回答。
- 排出量等の大幅増加の主因となる算出ルールの変更があり、遡及算出が不可の場合は、前年との実質的な比較の欄に「1」を入力（M&Aによる増加は該当せず）。

★公開★EQ28. 環境負荷データの実績・達成目標数値についてお答えください。
 ※最新の把握範囲で過去実績の遡及算出が可能な場合はその数値をご記入ください。
 排出量等の大幅増加の主因となる水準での算出ルールの変更(把握範囲やバウンダリーの大幅な拡大など)があった場合は、前年度との実質的な比較欄に「1」を入力してください。M&Aによる増加はこれには該当しません。
 ※x-4.温暖化ガス、d-2.水資源投入量は原単位の内容もご記入ください。
 ※「0」の場合は、空欄とせず「0」を入力してください。

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度達成目標	単位
温暖化ガス	x-1. Scope1					tCO2e
	x-2. Scope2(ロケーション基準またはマーケット基準)					tCO2e
	x-3. Scope3					tCO2e
	x-4. Scope1+2(原単位)					下記に記載
エネルギー	a. 消費電力量					kwh
	b. 消費電力量のうち再生可能エネルギー量					kwh
廃棄物	c-1. 廃棄物等総排出量					トン
	c-2. 廃棄物最終処分量					トン
水資源	d-1. 水資源投入量					千m3
	d-2. 水資源投入量(原単位)					下記に記載
前年度との排出量や消費量の実質的な比較						
						←不可の場合1

社会価値

社内外における人権尊重、従業員のダイバーシティーとエンゲージメント、人的資本、社会貢献活動などを総合的に評価。

● 人権の尊重

人権デューデリジェンスの実施、自社とサプライチェーンにおける人権尊重 など

● 消費者・顧客課題への取り組み

障がい者や高齢者を含む消費者顧客への対応、製品・サービスの品質・安全性確保 など

● 社会貢献活動

従業員の社会貢献活動に対する支援、社会貢献活動費 など

● 労働時間と休暇

総労働時間、有給取得率、労働時間適正化や休暇取得奨励に向けた取り組み など

● ダイバーシティー

女性・外国人管理職比率、女性・外国人活躍推進に向けた取り組み、シニアの雇用、障がい者の雇用 など

● 従業員エンゲージメント

従業員調査の実施と結果の活用 など

● 人的資本

人的資本に関する方針やKPI など

※青字は新規追加項目

EQ30. 人権デューデリジェンスの実施

ビジネスと人権の指導原則に基づく人権尊重の取り組みなどを評価。

- a. 人権方針の策定・b. リスクの特定・c. リスクの軽減策の実施・d. 苦情処理（救済手段）の構築という人権尊重プロセスを実施し公表していることを評価。
- a,b,dについてサプライチェーンまで拡大した取り組みを評価。

EQ30.人権の尊重について、実施および公表をしていますか。（それぞれ1つずつ）

a.人権の尊重に関する方針の策定・開示状況

※「独立した方針とは、企業倫理方針や行動規範に含まれる形ではなく、「人権方針」などの名前で人権のみを対象とした方針を指します。

- | | | |
|--------------------|--------------------|------------|
| 1. 独立した方針として策定、開示 | 3. 非独立の方針として策定、開示 | 5. 策定していない |
| 2. 独立した方針として策定、非開示 | 4. 非独立の方針として策定、非開示 | |

「1. 独立した方針として策定、開示」の場合はURLをご記入ください。

URL:

SQ1. <「1. 独立した方針として策定、開示」の場合> どのような方針を公表していますか。（いくつでも）

- | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 児童労働 | <input type="checkbox"/> 3. 差別 | <input type="checkbox"/> 5. その他 |
| <input type="checkbox"/> 2. 強制労働 | <input type="checkbox"/> 4. ハラスメント | |

SQ2. <「1. 独立した方針として策定、開示」の場合> 方針の適用範囲をお答えください。（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 自社全体 | <input type="checkbox"/> 3. 国内の関連会社 | <input type="checkbox"/> 5. 海外の関連会社 |
| <input type="checkbox"/> 2. 国内の連結子会社 | <input type="checkbox"/> 4. 海外の連結子会社 | <input type="checkbox"/> 6. サプライチェーン |

b.事業や組織の活動が人権に与える影響(人権リスク)の特定

c.リスクに対する予防策または軽減策

d.人権侵害が起きた際の苦情処理・救済手段の構築

<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

- 1. 実施し、公表している
- 2. 実施しているが公表していない
- 3. 実施していない

SQ3. <bで「1. 実施し、公表もしている」「2. 実施しているが、公表はしていない」場合>

どのようなリスクを特定していますか。（いくつでも）

- | | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 児童労働 | <input type="checkbox"/> 4. 労働条件(最低賃金など) | <input type="checkbox"/> 7. 心身の障害・病気への差別 |
| <input type="checkbox"/> 2. 強制労働 | <input type="checkbox"/> 5. 性差別 | <input type="checkbox"/> 8. 人種・民族・宗教・国籍等への差別 |
| <input type="checkbox"/> 3. 労働者の権利
(回結権など) | <input type="checkbox"/> 6. 性的指向・性自認
(LGBTなど)への差別 | <input type="checkbox"/> 9. ハラスメント |

SQ4. <bで「1. 実施し、公表もしている」「2. 実施しているが、公表はしていない」場合>

リスクの特定範囲をお答えください。（いくつでも）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 自社内での侵害 | <input type="checkbox"/> 6. 国内の販売先や販売代理店による侵害 |
| <input type="checkbox"/> 2. 自社から取引先への侵害 | <input type="checkbox"/> 7. 海外の連結子会社による侵害 |
| <input type="checkbox"/> 3. 自社の採用活動における侵害 | <input type="checkbox"/> 8. 海外の取引先による侵害 |
| <input type="checkbox"/> 4. 国内の連結子会社による侵害 | <input type="checkbox"/> 9. 海外の販売先や販売代理店による侵害 |
| <input type="checkbox"/> 5. 国内の取引先(調達先)による侵害 | |

SQ5. <dで「1. 実施し、公表もしている」「2. 実施しているが、公表はしていない」場合>

苦情処理・救済窓口の対象範囲をお答えください。（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 自社全体 | <input type="checkbox"/> 3. 国内の関連会社 | <input type="checkbox"/> 5. 海外の関連会社 |
| <input type="checkbox"/> 2. 国内の連結子会社 | <input type="checkbox"/> 4. 海外の連結子会社 | <input type="checkbox"/> 6. サプライチェーン |

SQ6. <dで「1. 実施し、公表もしている」「2. 実施しているが、公表はしていない」場合>

苦情処理(救済)メカニズムについてどのような取り組みを実施していますか。（いくつでも）

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 苦情処理窓口の多言語対応 | <input type="checkbox"/> 5. 受付時の対応プロセスや所要時間を明示 |
| <input type="checkbox"/> 2. 苦情処理窓口や苦情様式をウェブサイトなどにも設置 | <input type="checkbox"/> 6. 共通プラットフォームの導入や
業界(産業)団体との連携 |
| <input type="checkbox"/> 3. 人事関連以外の部署が対応 | <input type="checkbox"/> 7. その他 |
| <input type="checkbox"/> 4. 窓口の存在や利用方法をメール等で周知 | |

ガバナンス

執行と監督の分離、取締役会の実効性と多様性、株式保有などを総合的に評価。

●ガバナンス方針と実効性

ガバナンスに関する方針、実効性を高めるための取り組み など

●取締役会

ボードダイバーシティー、指名委員会・報酬委員会の設置、役員報酬 など

●株主対応・株式保有 ※非上場企業対象外

政策保有株式、株式持合 など

EQ42. 取締役会・指名委員会・報酬委員会の構成

指名委員会・報酬委員会の設置、議長の独立性などを評価。

- 指名委員会等設置会社の監査等委員、監査委員会等設置会社の監査委員は取締役に含めて回答。
(昨年調査から変更)
- 組織形態による回答方法は、調査票ファイル内の「記入上の注意事項」シートも参照。

EQ42. 取締役会および指名委員会・報酬委員会の構成についてご記入ください。

※指名・報酬委員会は任意のものを含まず。

※補欠・仮監査役は除いてください。

※指名委員会等設置会社の監査委員と監査等委員会設置会社の監査等委員は、**取締役に記入してください。(昨年から変更)**

	※AQ8でご回答いただいた就任者合計	a. 取締役会	b. 指名委員会	c. 報酬委員会
①業務執行の社内取締役		人	人	人
②非業務執行の社内取締役	人	人	人	人
③社外取締役	人	人	人	人
④社内監査役		人	人	人
⑤社外監査役		人	人	人

EQ43. 取締役会および指名委員会・報酬委員会の議長をお答えください。(それぞれ1つだけ)

※指名・報酬委員会は任意のものを含まず。

【選択肢】

1. 業務執行の社内取締役	2. 非業務執行の社内取締役	3. 独立社外取締役
4. 非独立社外取締役	5. 社内監査役	6. 社外監査役
7. その他		

↓ ↓ ↓

a. 取締役会(7は選択不可) b. 指名委員会 c. 報酬委員会

AQ7、8、EQ41～45 組織形態とガバナンスの各設問について

AQ7で選択いただいた組織形態を前提にご回答ください(組織形態はコーポレートガバナンス報告書に記載されています)。

	指名委員会等設置会社	監査等委員会設置会社	監査役会設置会社
AQ7	1 指名委員会等設置会社	2 監査等委員会設置会社	3 いずれにも該当しない
AQ8 (役員人数)	監査委員は取締役に含める ③執行役 も回答	監査等委員は取締役に含める ③執行役 はブランク	③執行役 はブランク
EQ41 (任意委員会)	任意設置の指名委員会・報酬委員会の有無を回答 回答不要 (指名・報酬委員会の設置は義務)		
EQ42 (委員会構成)	取締役会、指名委員会、報酬委員会全て回答 監査委員は ①②③(取締役)として回答	いずれも設置せず ↓ 取締役会のみ回答 監査等委員は ①②③(取締役)として回答	いずれか設置している 取締役会に加え、設置している任意委員会について回答 ↓ 取締役会のみ回答

自由記述設問の意図

「何によるインパクト・貢献か」と「何の分野の課題に関する貢献か」で内容を書き分け。

大分類	Q	設問	何によるインパクト・貢献	貢献する課題
SDGs戦略・ 経済価値	EQ14	ポジティブインパクト	事業によるインパクト	問わず
	EQ15	ネガティブインパクト		
	EQ16	SDGsに貢献するビジネス	提供する製品・サービスでの貢献	
	EQ55	コロナ関連でのインパクト	問わず	
環境価値	EQ22a	気候変動の緩和	事業活動内での貢献	環境
	EQ22b	持続可能な資源の活用		
	EQ22c	生物多様性の保全		
	EQ23	気候変動への適応	問わず	
社会価値	EQ38	社会貢献活動	社会貢献活動での貢献	問わず



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル
URL : <http://www.nikkei-r.co.jp>

「SDGs経営」 「スマートワーク経営」 調査事務局

✉ sw-survey@nikkei-r.co.jp

☎ 03-5296-5198

Appendix

NIKKEI-R

単一回答設問（1つだけ選択）の回答方法

該当する選択肢番号を、対応するクリーム色の欄に入力。

- 以下の場合、環境に関する方針について「2. 非独立の方針として公表している」と回答したことになります。

EQ17. 環境について、具体的な方針を公表していますか。（1つだけ）

※「独立した方針」とは、企業倫理方針や行動規範に含まれる形ではなく、「環境方針」などの名前で環境のみを対象とした方針を指します。

1. 独立した方針として公表している 2. 非独立の方針として公表している 3. 公表していない

2

複数回答設問（いくつでも選択）の回答方法

該当する選択肢番号に対応するクリーム色の欄に「1」を入力。

- 以下の場合、取締役などの経験・専門性について、「1. 取締役に求められるスキルや経験」、「3. 取締役のスキルマトリックス」の2つを開示していると回答したことになります。

EQ50. 取締役などの経験・専門性に関する、開示状況とその内容が開示されているURLをお答えください。

※有報に記載の経歴など、法定開示の範囲は除きます。

（いくつでも）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1 | 1. 取締役に求められるスキルや経験 | | 4. 執行役員など取締役以外のスキルマトリックス |
| | 2. 取締役に求められるスキルや経験の理由
(経営戦略や課題とのリンク) | | 5. スキルマトリックスの中にESGの要素がある
(ESG・サステナビリティ・環境など) |
| 1 | 3. 取締役のスキルマトリックス | | |

数量値設問の回答方法

クリーム色の欄に該当する数値を入力。

- 以下の場合、役員報酬の割合について「固定報酬が約30%」、「短期業績連動報酬が約10%」、「中長期業績連動報酬が約60%」と回答したことになります。

★公開④★EQ51. 役員の総報酬における固定報酬と業績連動型報酬の割合をお答えください。

※短期業績／中長期業績の区分が無い場合、固定報酬の割合のみでもご記入ください。

※対象となる役員は、原則AQ9.①取締役(社内)の範囲でお答えください。

※原則設定ベース(標準的な業績だった場合の割合)でお答えください。設定がない場合は直近の実績でも構いません。

※株式報酬も含めてお答えください。

$$\text{約 } \boxed{30} \% + \text{約 } \boxed{10} \% + \text{約 } \boxed{60} \% = \text{計100\%}$$

自由記述設問の回答方法

クリーム色の欄に内容を入力。

- 指定された文字数以内でご回答ください。(回答欄の右上や右に表示される字数カウントを参照)
- データ抽出システムの関係で、セル内改行は出来るだけお控えください。

★公開④★EQ15. 貴社の事業が環境・社会・経済の課題解決 (SDGs への貢献) に対して与えている最大のネガティブなインパクトとそれを低減するための取り組みや成果をお答えください。

(合計で200字以内)

※回答に対してマイナスの評価はしません。ネガティブインパクトの把握、低減のための取り組みを評価します。

字数 0

ネガティブなインパクト	
低減するための取り組みや成果	

回答欄の色

クリーム色の回答欄に回答。グレー色の回答欄は回答不要。

- 以下の場合、ESG債の発行有無について、未回答or「2. 発行していないが、今後検討している」or「3. 発行していない」選択時はSQ1は回答不要のため回答欄はグレー色。
「1. 発行した」選択時はSQ1は回答可能のため回答欄がクリーム色に変化。

EQ57. 2020年度または2021年度にESG債を発行しましたか。（1つだけ）

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 発行した | 3. 発行していない |
| 2. 発行していないが、今後検討している | |

（「1. 発行した」とお答えの場合）

SQ1. 2020年度と2021年度に発行した債券発行額と、そのうちのESG債発行額をお答えください。

	2020年度	2021年度
a. 債券発行額	億円	億円
b. うちESG債発行額	億円	億円

EQ57. 2020年度または2021年度にESG債を発行しましたか。（1つだけ）

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 発行した | 3. 発行していない |
| 2. 発行していないが、今後検討している | |

（「1. 発行した」とお答えの場合）

SQ1. 2020年度と2021年度に発行した債券発行額と、そのうちのESG債発行額をお答えください。

	2020年度	2021年度
a. 債券発行額	億円	億円
b. うちESG債発行額	億円	億円

- 非上場企業回答不要の設問の回答欄は非上場企業の場合、グレー色。

★公開★EQ11. 環境・社会・経済の課題解決（SDGsへの貢献）について、株主・投資家などの対話を行っていますか。（いくつでも）

※3、4について資料や動画を公開している場合はURLをご記入ください。
※非上場企業の場合は回答不要です。

- | | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 株主総会で説明 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 決算説明会で説明 |
| <input type="checkbox"/> | 3. ESGをテーマとする投資家向けESG説明会、サステナビリティ説明会、SDGs説明会等を実施
→URL: _____ |
| <input type="checkbox"/> | 4. 投資家向け説明会の中でESGについて説明
→URL: _____ |
| <input type="checkbox"/> | 5. 投資家との1on1ミーティングでESGについて説明 |
| <input type="checkbox"/> | 6. セルサイドアナリスト向けIRミーティングで説明 |
| <input type="checkbox"/> | 7. 環境省ESG対話プラットフォームへの参加 |
| <input type="checkbox"/> | 8. その他 _____ |
| <input type="checkbox"/> | 9. 行っていない |

EQ49. ガバナンスの実質を高めるために、資本コストを測定・活用していますか。（いくつでも）

※非上場企業の場合は回答不要です。

- | | | | |
|--------------------------|----------------------------------|--------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 自社全体の資本コストを把握している | <input type="checkbox"/> | 4. 資本コストを役員報酬の業績評価指標に組み込んでいる |
| <input type="checkbox"/> | 2. 自社のセグメントごとの資本コストを把握している | <input type="checkbox"/> | 5. 資本コスト概念を踏まえた経営を社内に浸透させている |
| <input type="checkbox"/> | 3. 資本コストを事業の選択と集中や投資の意思決定に反映している | <input type="checkbox"/> | 6. 特に資本コストを測定・活用していない |

※設問文の条件（「1」とお答えの場合など）や注釈の条件（非上場企業の場合は回答不要）などもご参照ください。

備考欄

クリーム色の回答欄に入力。

- 入力規制の関係などで正しい回答が回答欄に入力できない場合や、カウントの仕方により回答の値が異なる場合などにご使用ください。
- 「その他」や自由記述のご記入欄に入りきらない内容を記入する欄ではありません。

【備考欄】 EQ1～EQ57のSDGs調査用設問について補足説明が必要な場合はご記入ください。

※回答欄に入りきらない追加回答などの記入はご遠慮ください。

その他

評価対象外となるため、調査票以外のファイルなどの添付はお控えください。